

事務事業評価

平成 30 年度

担当課 学校教育課

基本事項	事務事業名	小学校フッ化物洗口推進事業				整理番号	2214
	根拠法令等					実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章	第7章 生きる力と創造力を持った人を育てる	予算科目	10 款 5 項 1 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規	
		節	第2節 義務教育の充実	事業区分	市民サービス事業		

事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	島原市は、むし歯を持つ子どもとそうでない子どもの二極化がみられ、子どもの年齢が上がるにつれてむし歯の本数が増える現状にある。また、12歳児の一人当たりのむし歯の本数は長崎県内でも高い順位であることから、市内の子どものむし歯予防を定着させるために集団によるフッ化物洗口を小学校で導入した。				計画期間	始期	平成	27	年度から	
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	【対象】市内小学校全児童(保護者の希望があるもの) 【目的】むし歯予防を定着させ、市内の子どもの罹患率の低減を図ることを目的として、フッ化物洗口を小学校で導入した。平成31年度から中学校への拡充を図り、平成32年度には完全実施をめざす。									
	目的達成のための 具体的手段・方法	学校歯科医の指導のもと、週1回法による集団フッ化物洗口を行う。 ・フッ化物洗口にかかる薬剤及び物品の取り扱い等 ア 使用する薬剤: 島原南高歯科医師会が推薦する薬剤 イ 薬剤及び物品は、教育委員会が歯科医師会の指示のもと購入する。 ウ 学校歯科医師の指示に従い、取り扱う。									
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名 称 等 ( 内 容 )		単位	28 年度	29 年度	30 年度				
		①永久歯の一人平均う歯数 (未処置歯数+処置歯数+喪失歯数)÷(検診者数)		目標	本	0.4	0.4				
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	②永久歯のう歯罹患率 (未処置歯数+処置歯数+喪失歯数)÷(現在歯数+喪失歯数)×100		実績	本	0.569	0.4524					
			達成率	%	70.3	88.4					
			目標	%	3	3					
			実績	%	4.15	3.26					
			達成率	%	72.3	92.0					
		①フッ化物洗口実施小学校	目標	校	10	10					
			実績	校	10	10					
		②永久歯の処置歯率 (処置歯数)÷(未処置歯数+処置歯数+喪失歯数)×100	目標	%	90	90					
			実績	%	82.23	87.54					

事業費等の推移	年度		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予 算	計 画
	① 直接事業費(千円)		0	248	549	549	549	549
	財源内訳	国 県 支 出 金	0	165	274	274	183	0
		地 方 債	0	0	0	0	0	0
		そ の 他	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	0	83	275	275	366	549
	② 従事職員給与費 b1×b2		0	149	150	151	153	0
	従事職員数(人) b1		0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
	職員平均人件費 b2		7,317	7,438	7,484	7,546	7,663	
事業費合計 ① + ②		0	397	699	700	702	549	

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 保育園や幼稚園、学校での実施を考えると市が関与した方が望ましい。	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 島田市健康増進計画にもあげられているが、歯科疾患を予防することが重要であり、子供から高齢者まで生涯を通じた取り組みが必要である。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない フッ化物洗口とともに、ブラッシング指導やむし歯があったときの治療勧告など歯や口腔の健康に対する意識が高まっていると考えている。	A
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 現在、フッ化物洗口、ブラッシングの励行、歯の健診後の治療勧告等を行っており、引き続き、継続していくことが重要だと考えている。	A
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 永久歯で考えると、一人あたりのむし歯数は、明らかに減少している。	A
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 市内全小中学校で行われているので、現在の方法が望ましいと考えている。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 家庭環境に関わらず、すべての子供にむし歯予防を行うことができるので、保育園、幼稚園、学校で行うのが望ましいと考える。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 市内全小中学校でフッ化物洗口が行われている。	A
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要		A

判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算	3.00
--	------

◎ 総合自己評価（所管部署）

評価結果	<input type="radio"/> A 継続実施（特段の見直しは行わない）	判断理由 歯や口腔の健康は、食べる喜び、話す楽しみを保つために重要である。むし歯や歯周病などの歯科疾患は、その進行により歯の喪失につながるため、食生活に支障をきたし、ひいては全身の健康にも影響を与えるので、歯科疾患を予防することが重要である。フッ化物洗口を行うことで、むし歯予防を行うとともに、歯の健康への意識を高めることに役立っていると考えている。子供の頃から歯磨き習慣を定着させ、定期的な健診と早期治療のために歯科受診をするなど、歯の大切さについての啓発に努め、健康で生きがいのある生活を支えたい。そのため、平成31年度から中学校への拡充を図り、平成32年度には完全実施をめざす。
	<input type="radio"/> B 改善・見直しを行う	
	<input checked="" type="radio"/> B1 事業規模の拡充	
	<input type="radio"/> B2 事業規模の縮小	
	<input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し	
	<input type="radio"/> B4 その他の見直し	
<input type="radio"/> C 休止（隔年実施などへの変更）		
<input type="radio"/> D 廃止（終期の設定等を含む）		

今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等)
-------------------	-----------

・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。  
・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載してください。

【2次評価】

総合判定	A 継続実施（特段の見直しは行わない）
備考	学校保健の観点からフッ化物洗口を実施する必要性は理解できる。県からの指示により中学校まで拡大させる計画があるが、中学校の現状がどのようなものなのか、公費で実施する必要性がどれだけあるのかを見極め、拡充する必要がある。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	186 (千円)